

世界の先導者SFC招聘プログラム

阿川 尚之 (総合政策学部長)

本プログラムでは世界的な舞台で比類なき功績を上げ高い評価を受ける、政治・経済・文化・科学などの分野における真の先導者を SFC に招聘し、学生および教員・研究者との集中的かつ緊密な交流を行った。福澤諭吉先生のいう「人間(じんかん)交際」を通じて、特に学生の視野を広げ、世界へ雄飛せんとする志を抱かせしめ、独立と共生の能力を兼ね備える「世界の先導者」育成に資する。



サンドラ・ディ・オコナー前合衆国最高裁判事を招聘して、2008年12月9日から14日までの間、SFC や三田キャンパスなどで様々なプログラムを実施した。オコナー女史招聘プログラムを「オコナー塾」とよび、オコナー塾に参加する学生14名を募集した(大学院生1名、SFC学部学生12名、三田学部学生1名)。

まず、12月10日から12日には、オコナー女史がSFCに2泊3日で滞在した。12月10日は、オリエンテーション、SFCアゴラへの参加、学生向け特別セミナーを実施したほか、茶道サークルによる茶道体験を実施した。茶道体験では、大学生だけでなくSFC高校生も参加し、国際交流体験を行った。

翌11日には、午前中に学生諸君とともに鎌倉を訪問し、午後には学部講義科目「外交と戦略」にて講演を行った。SFCでは、オコナー女史と学生がともにゲストハウスに滞在して起居を共にした。

12月12日は都内に移動し、首相官邸、外務省、最高裁を訪問し、伊藤信太郎外務副大臣、竹崎博允最高裁長官などと意見交換を行った。同日、三田演説館において名誉博士号授与式を執り行い、名誉博士の学位を授与した。



その後、記念講演とレセプションを三田キャンパス内で行い、法学部や法務研究科の教員・学生などとの交流を深めた。13日は自由行動日にあて、14日に帰国していただいた。